

第1章 調査の概要

1 調査の名称

障害者の生涯学習に関する実態調査

2 調査の趣旨

障害者の生涯学習推進については、第4次障害者基本計画や第3期教育振興基本計画の中に明記されており、国では、共生社会の実現に向けて学校卒業後も障害者が学び続けることができる生涯学習の取組や環境整備等を推進することが必要であるとされている。

また、文部科学省では、有識者会議を設置し、障害者の生涯学習に関する現状と課題の把握、それに基づく推進方策について検討を行い、報告書が取りまとめられ、この報告を基に通知が出され、都道府県及び市町村に求められる取組が明記されている。

一方で、本県ではこれまで障害者の生涯学習に関する実態やニーズの把握について調査研究は行われていないことから、本県における障害者の生涯学習を推進していくに当たり、障害者の生涯学習に関する実態やニーズの把握のための調査を行い、施策の企画立案に資することを目的として実施するものである。

3 調査対象

県内特別支援学校高等部・高等支援学校 14校に通う生徒 661人

県内障害者支援施設・障害福祉サービス事業所等利用者 607人

県内企業に雇用されている障害者 322人

計 1,590人

4 調査方法

県内特別支援学校高等部・高等支援学校 14校のほか、地域などを考慮し抽出した障害者支援施設・障害福祉サービス事業所等、障害者雇用企業へ調査用紙を送付し、直接記入された調査票を同封の返信用封筒により、無記名で回収した。調査表に記入にあたっては、サポートを受けることや代理の回答を可とした。なお、調査票の印刷・発送・回収、調査結果の集計業務は、業者委託により実施した。

- ・調査業務委託先 特定非営利活動法人プラットフォームあおもり
- ・調査票の発送 令和5年1月27日
- ・回答期限 令和5年2月13日

※調査票については、下記からダウンロードすることができます。

<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kyoiku/e-shogai/research.html>

5 回収結果

有効回答数(率) : 800(50.31%)

調査不能数(率) : 790(49.69%)

不能内訳 回答不能連絡1人(0.13%)、白紙回答0人(0%)、無反応789人(99.87%)

6 研究顧問

- ・越村 康英 氏 (弘前大学教育学部 准教授)
- ・大木 えりか 氏 (八戸学院大学健康医療学部 講師)

7 参考とした調査の概要

- ・調査の名称 文部科学省「学校卒業後の障害者が学習活動に参加する際の阻害要因・促進要因等に関する調査研究」
- ・実施時期 平成30年11月実施
- ・実施方法 無記名のインターネット調査
- ・回答数 4,650人

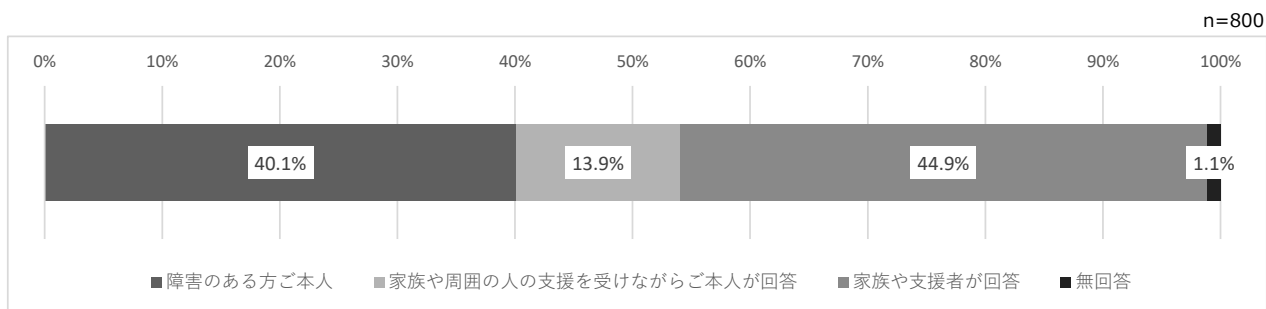
第2章 調査結果

1 調査結果の見方

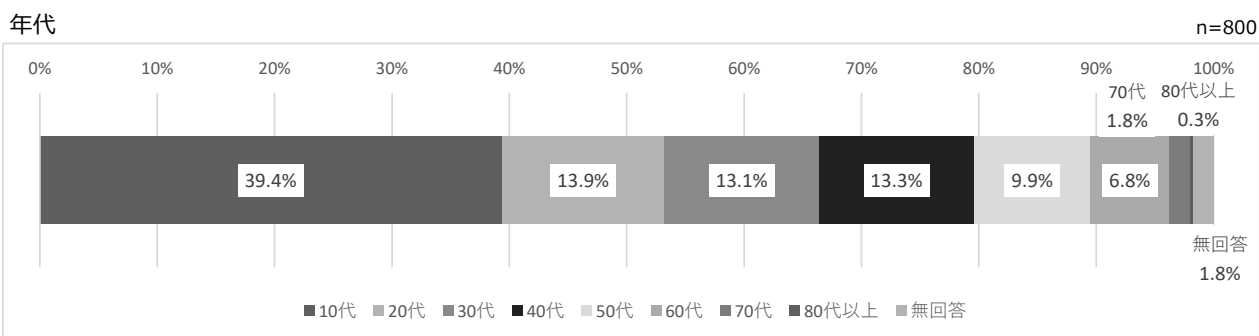
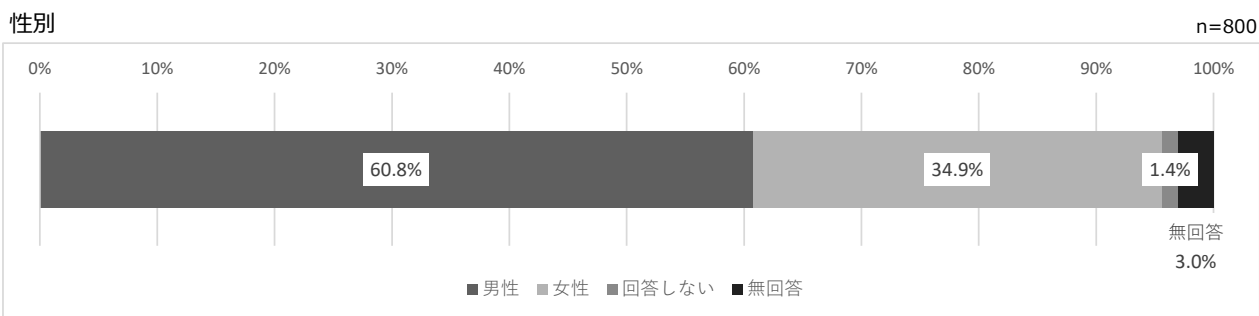
- ・ グラフの中の「n=」は、質問に対する回答者数を表している。
- ・ 結果数値（パーセント）は、小数点第2位を四捨五入しており、合計が100%にならないこともある。

2 調査回答者の属性

問1 ご回答される方はどなたですか。当てはまるものを一つ選び、記号に○をつけてください。



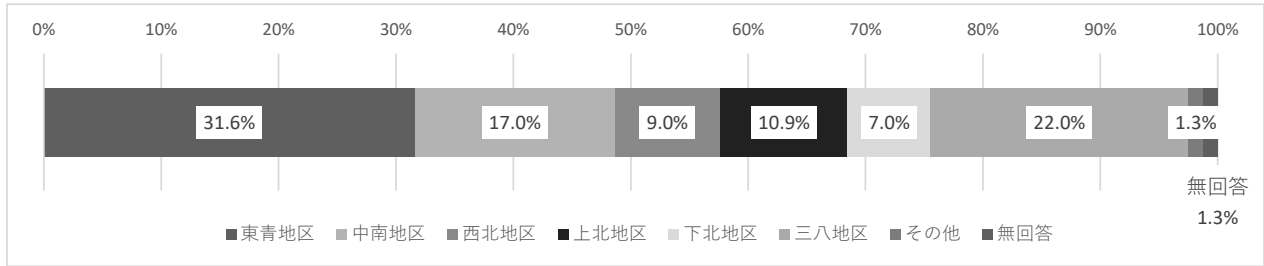
問2 障害のある方の性別、年代を教えてください。それぞれ当てはまるものを一つ選び、記号に○をつけてください。



問3 障害のある方のお住まいの市町村を教えてください。

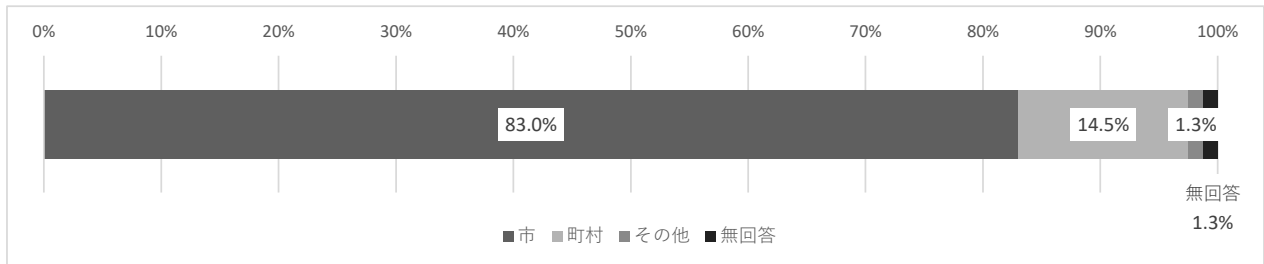
居住地区名

n=800



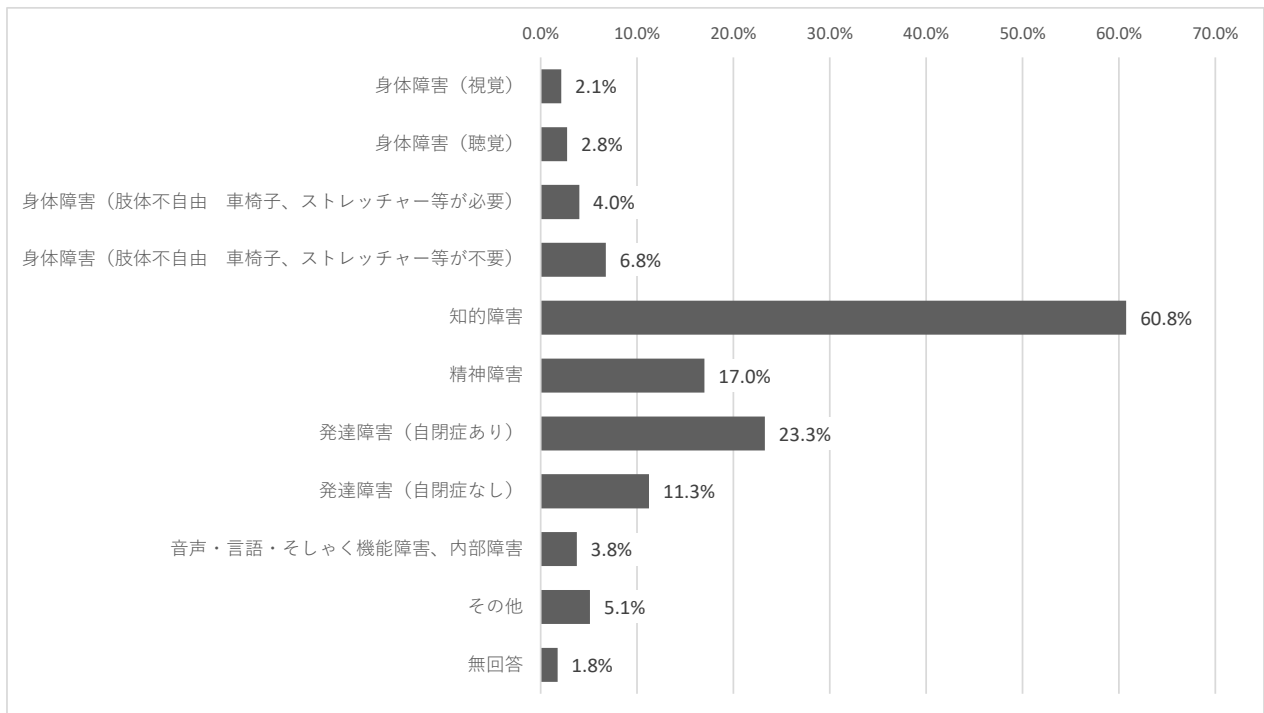
居住地区分

n=800



問4 障害のある方の障害の種類や状況を教えてください。当てはまるものすべての記号に○をつけてください。

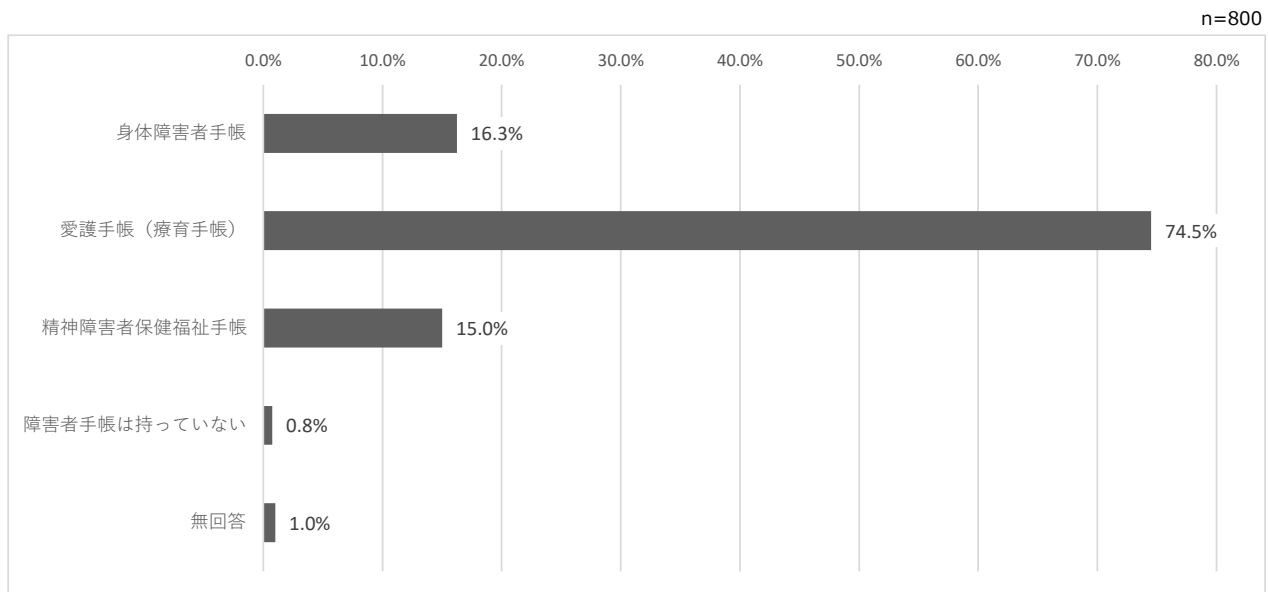
n=800



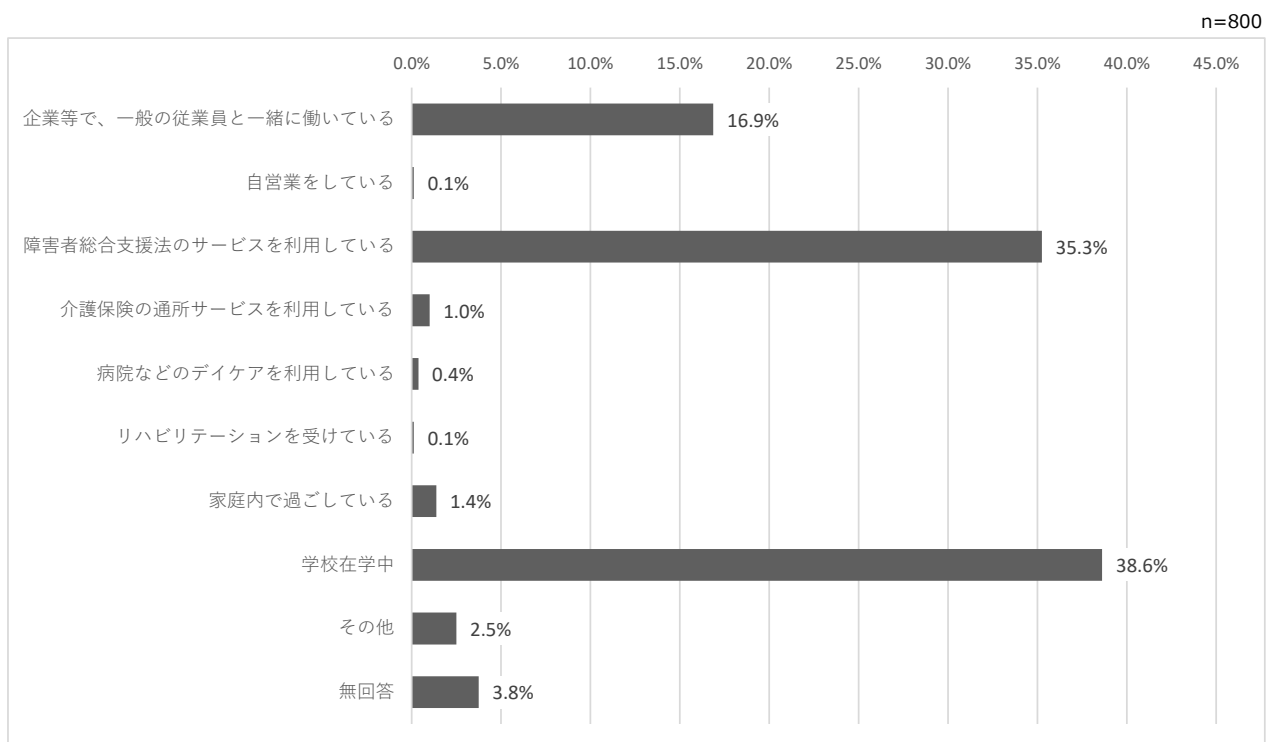
その他

- 腎臓 ●心臓・人工弁 ●右片まひ ●合併障害（4名） ●ダウン症(3名) ●ICDをうめこみしている ●多動性、注意欠如、学習障害 ●軽度の知的 ●アルコール障害 ●統合失調症 ●聴覚過敏 ●ADHD（2名）
- 側弯症 ●発話障害 ●てんかん ●心臓機能障害 ●チック ●ヒルシュスプルング症候群による排便障害
- 難病 ●腎不全 ●アスペルガー症候群 ●人工透析 ●軽度のダウン症 ●アルコール依存症 ●学習障害
- 自閉症

問5 障害のある方は障害者手帳をお持ちですか。当てはまるものすべての記号に○をつけてください。



問6 障害のある方は日中、主にどのような活動をしていますか。当てはまるものを一つ選び、記号に○をつけてください。



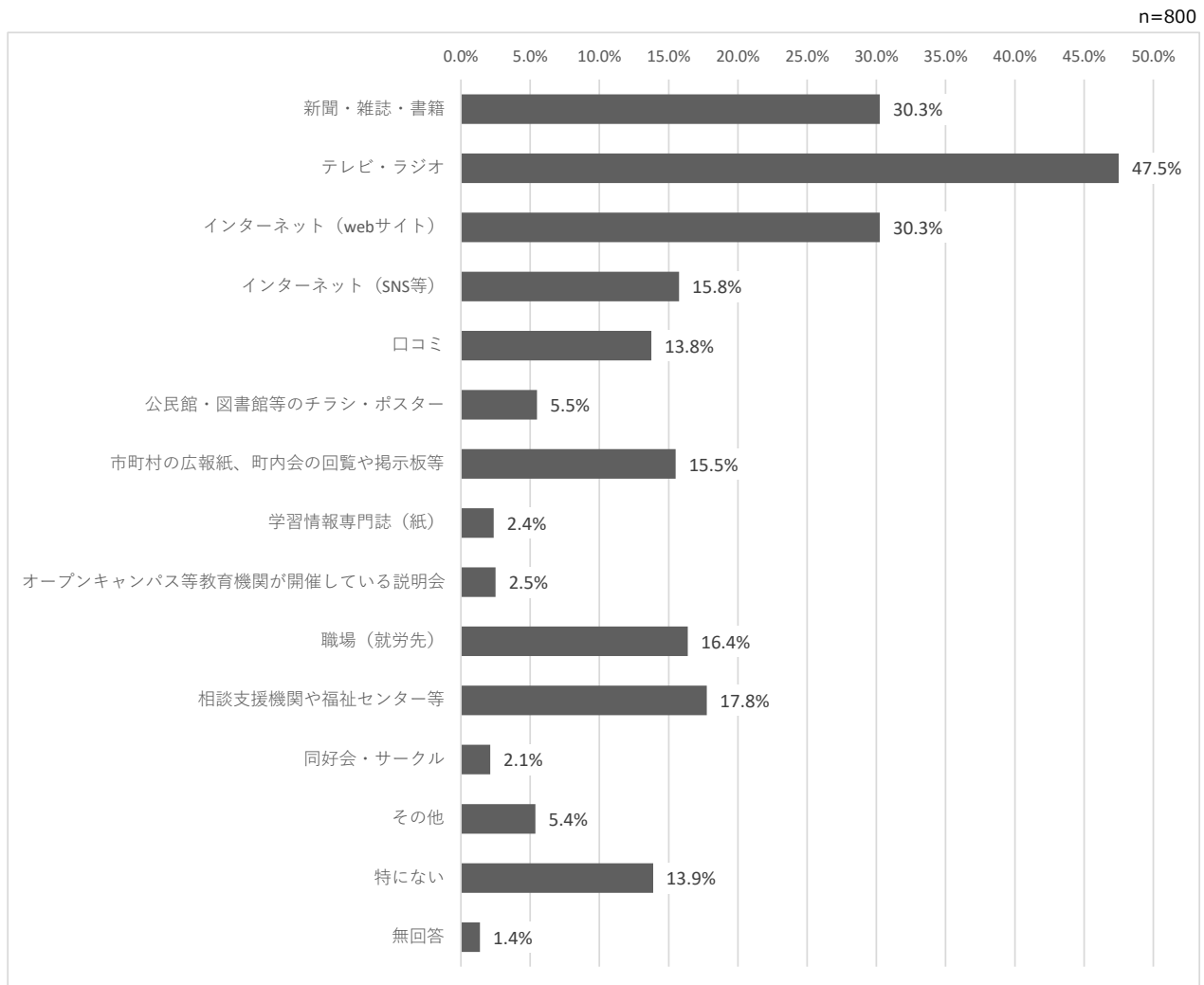
「学校在学中」という回答が38.6%と最も多く、次いで「障害者総合支援法のサービスを利用している」という回答が35.3%だった。

その他

- 就労継続支援A型 ● 通所施設 ● NPOひろば ● A型就労支援施設 ● A型事業所で勤務 ● 障がい者支援施設
- 通所 ● 障害福祉サービス（自立支援給付） ● 介護福祉老人ホーム介助員（掃除） ● 養護学校に通ってる
- 施設入所中 ● 施設内で紙ちぎりなど

3 日頃使っている情報源

問7 障害のある方は、ふだん生涯学習に関する情報をどのようなものから得ていますか。当てはまるものすべての記号に○をつけてください。



生涯学習に関する情報は「テレビ・ラジオ」から得ていると回答した方が47.5%で最も多かった。

その他

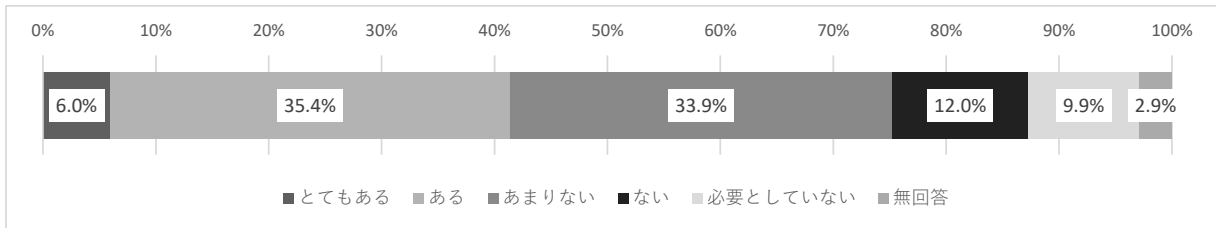
- 学校（19名） ●学校からのお知らせ（2名） ●学校から（2名） ●安定所、ハローワーク（2名）
- 高等支援学校 ●職親会 ●学校の受業 ●学校の配布物 ●学校教育（2名） ●在学中の学校（2名）
- 子供が通っている学校 ●学校からのチラシ ●仲の良い保育士の先生 ●パンフレット ●法人内公報等
- 学校の担任 ●親の会

4 学べる機会・情報の有無

問8 障害のある方が学びたいと思ったときに、学べる機会が身近にありますか。それぞれ当てはまるものを一つ選び、記号に○をつけてください。

① 知りたいことを学びたいと思うとき、必要な情報はありますか。

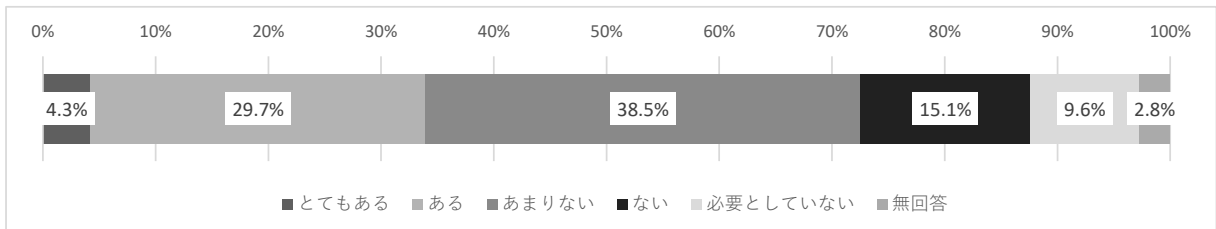
n=800



「とてもある」「ある」を合わせた「ある」という回答が41.4%、「あまりない」「ない」を合わせた「ない」という回答が45.9%となった。

② 知りたいことを学ぶための場や機会は身近にありますか。

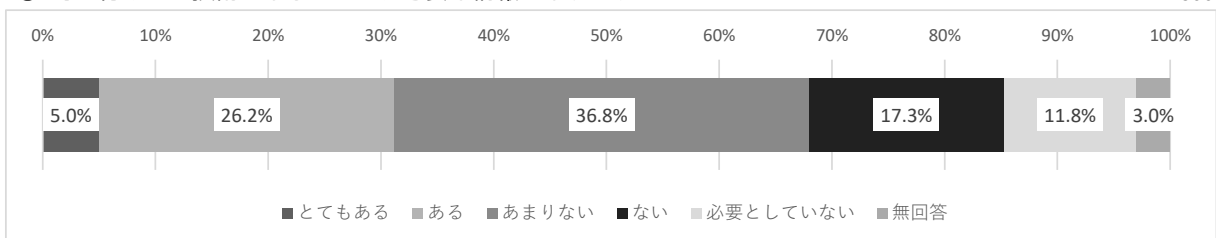
n=800



「とてもある」「ある」を合わせた「ある」という回答が34.0%、「あまりない」「ない」を合わせた「ない」という回答が53.6%となった。

③ 身に付けたい技術があるときに、必要な情報はありますか。

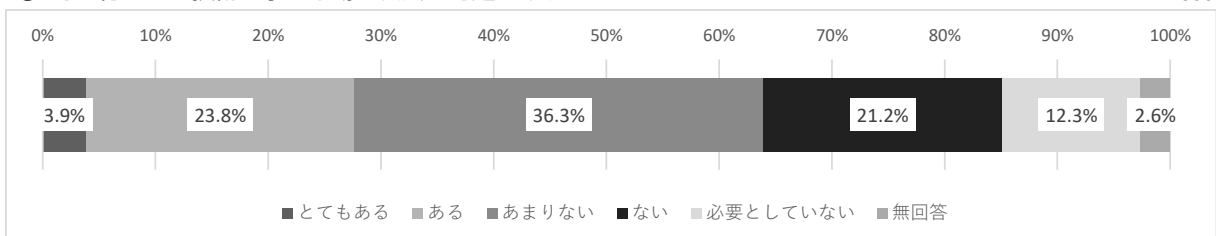
n=800



「とてもある」「ある」を合わせた「ある」という回答が31.2%、「あまりない」「ない」を合わせた「ない」という回答が54.1%となった。

④ 身に付けたい技術を学べる場や機会は身近にありますか。

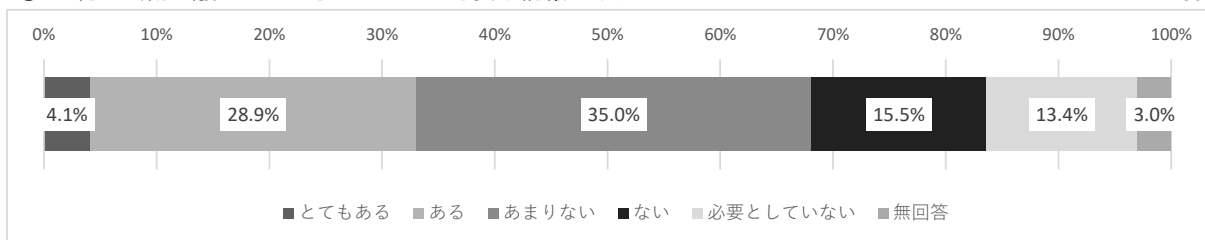
n=800



「とてもある」「ある」を合わせた「ある」という回答が27.7%、「あまりない」「ない」を合わせた「ない」という回答が57.5%となった。

⑤ 文化や芸術に触れたいと思うときに、必要な情報はありますか。

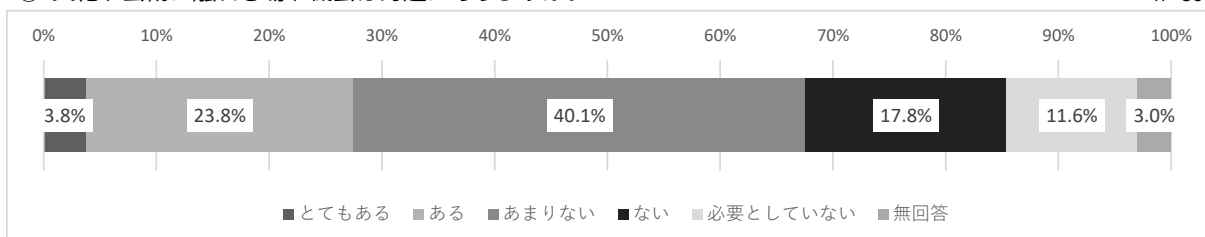
n=800



「ともある」「ある」を合わせた「ある」という回答が33.0%、「あまりない」「ない」を合わせた「ない」という回答が50.5%となった。

⑥ 文化や芸術に触れる場や機会は身近にありますか。

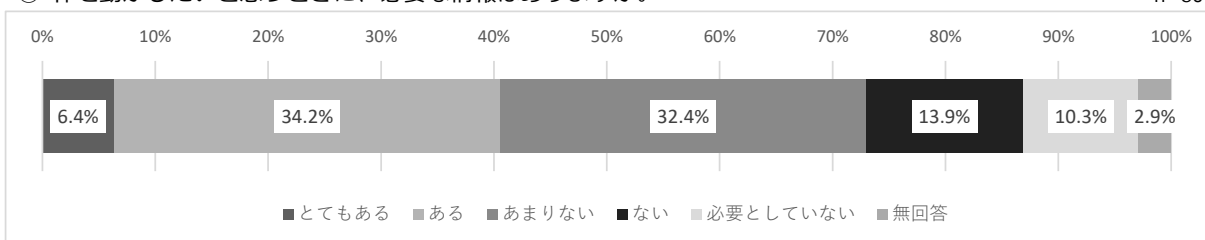
n=800



「ともある」「ある」を合わせた「ある」という回答が27.6%、「あまりない」「ない」を合わせた「ない」という回答が57.9%となった。

⑦ 体を動かしたいと思うときに、必要な情報はありますか。

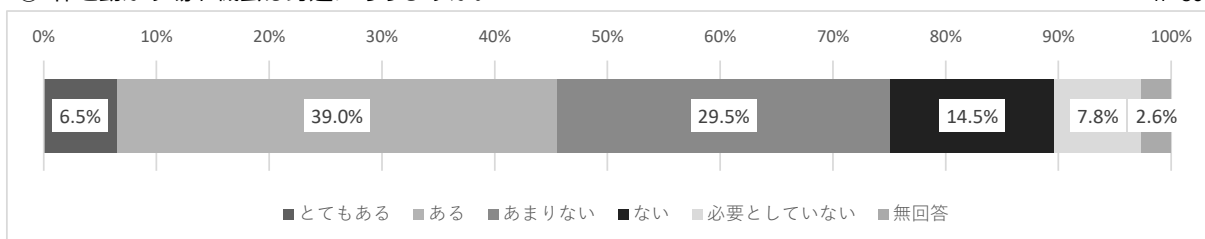
n=800



「ともある」「ある」を合わせた「ある」という回答が40.6%、「あまりない」「ない」を合わせた「ない」という回答が46.3%となった。

⑧ 体を動かす場や機会は身近にありますか。

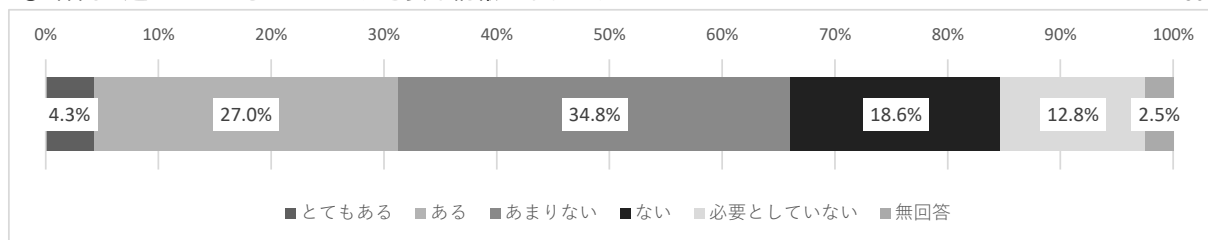
n=800



「ともある」「ある」を合わせた「ある」という回答が45.5%、「あまりない」「ない」を合わせた「ない」という回答が44.0%となった。

⑨ 仲間と遊びたいと思うときに、必要な情報はありますか。

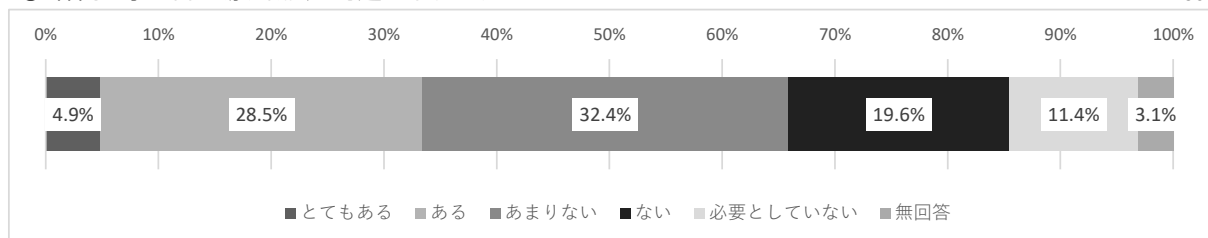
n=800



「とてもある」「ある」を合わせた「ある」という回答が31.3%、「あまりない」「ない」を合わせた「ない」という回答が53.4%となった。

⑩ 仲間と学び合う場や機会は身近にありますか。

n=800



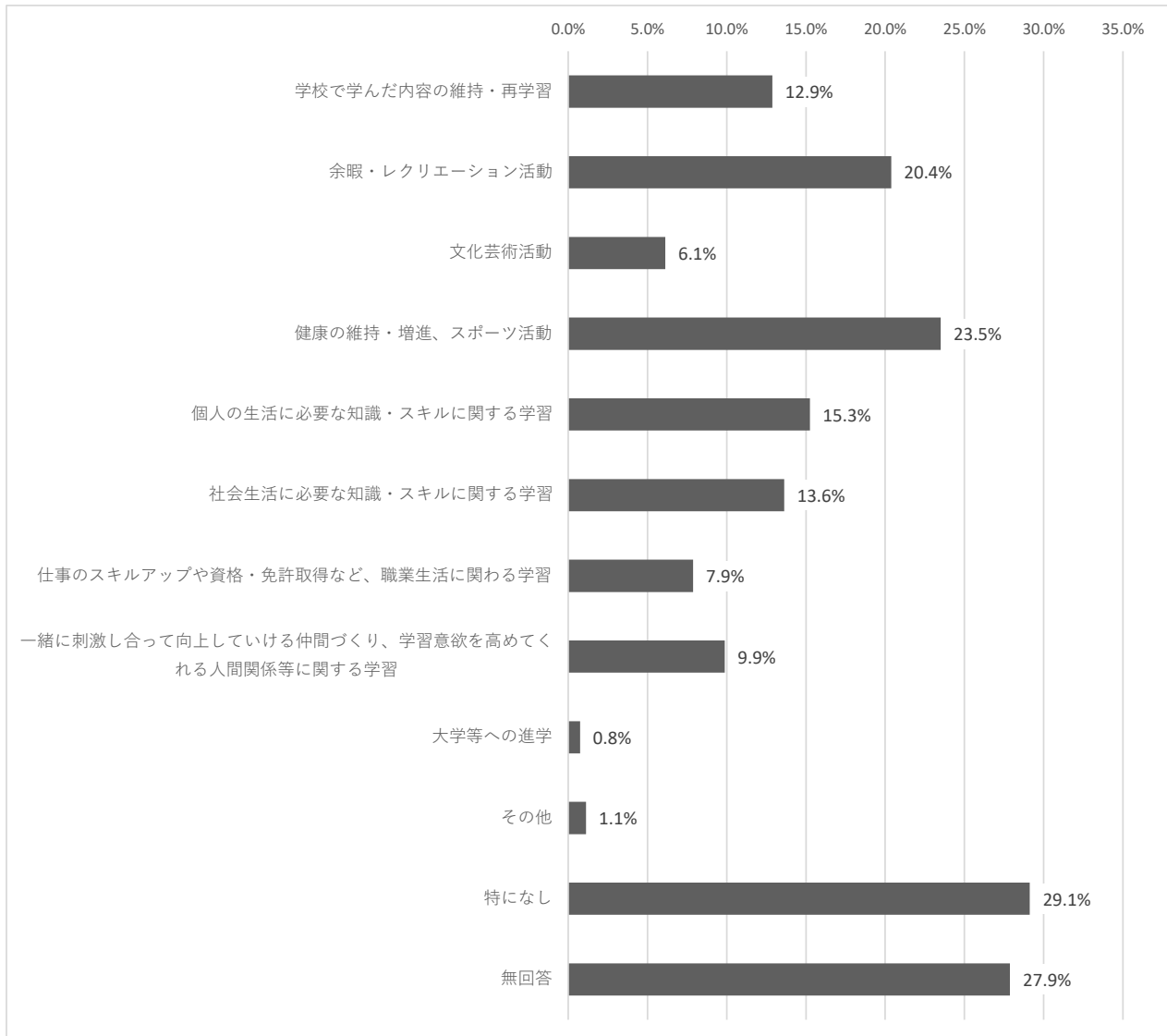
「とてもある」「ある」を合わせた「ある」という回答が33.4%、「あまりない」「ない」を合わせた「ない」という回答が52.0%となった。

5 障害者本人の学習内容別生涯学習経験と今後のニーズ

問9 障害のある方が学校卒業後、生涯学習（学校以外での学習や文化・スポーツ、趣味等）で続けていることはなんですか。（特別支援学校高等部・高等支援学校生徒は、学校以外で学習や文化・スポーツ、趣味等で続けていることは何ですか）また、これから取り組んでみたいことはなんですか。それぞれ当てはまるすべての記号に○をつけてください。

続けていること

n=800



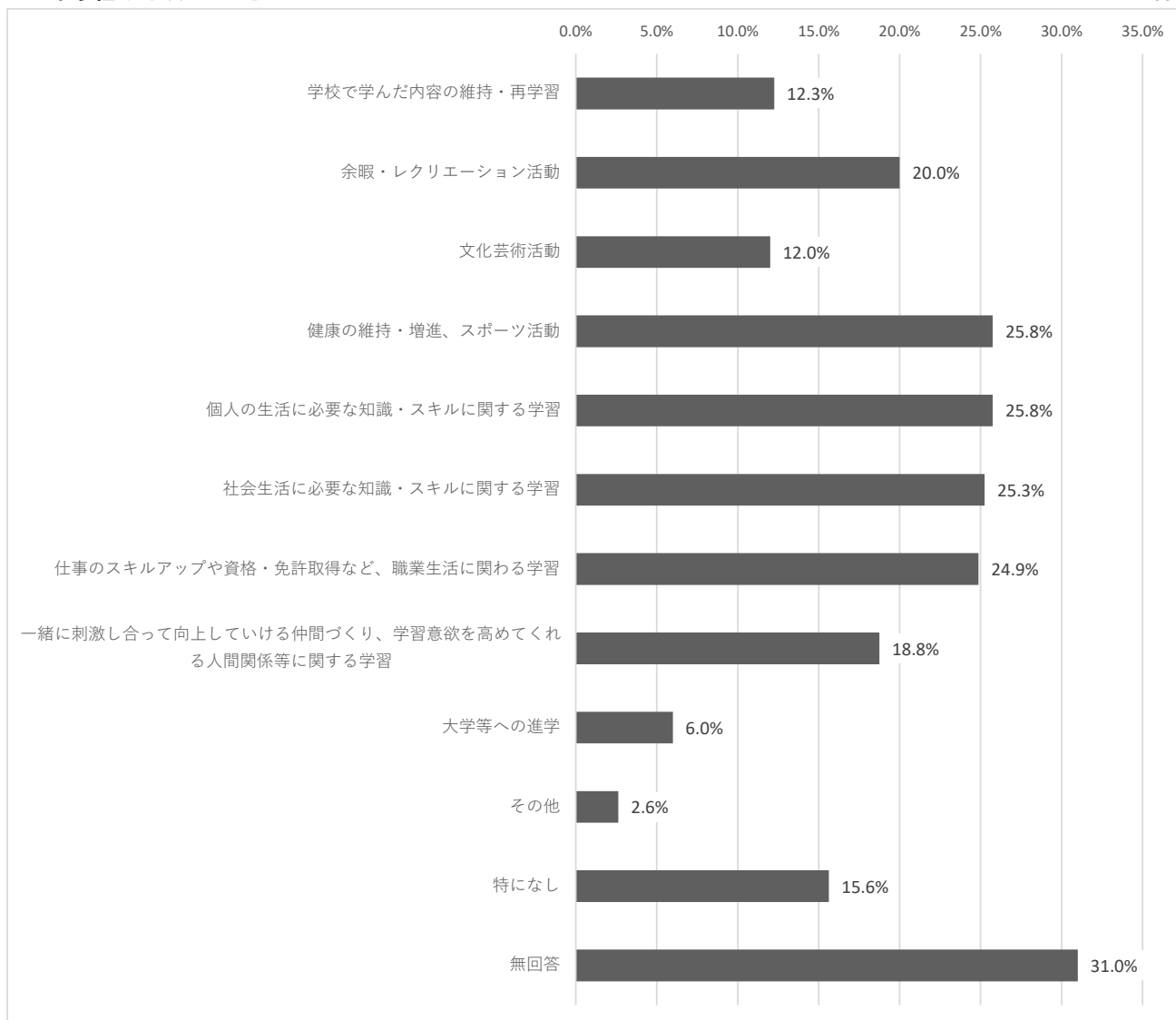
「健康の維持・増進、スポーツ活動」を続けていると回答した方が最も多く、23.5%だった。次いで「余暇・レクリエーション活動」と回答した方が20.4%だった。

その他

●家庭学習（ドリル等） ●散歩 ●読書 ●習い事 ●イラストを書くこと ●土日の休みは、なるべく外出時に、ウォーキングも兼ねて、1時間程度歩くようにしています。夏は、ジョギングと散歩を夕方などに、30分～1時間、続けるようにしています。

取り組んでみたいこと

n=800



「健康の維持・増進、スポーツ活動」「個人の生活に必要な知識・スキルに関する学習」に取り組んでみたいと回答した方が最も多く、25.8%だった。次いで「社会生活に必要な知識・スキルに関する学習」と回答した方が25.3%だった。

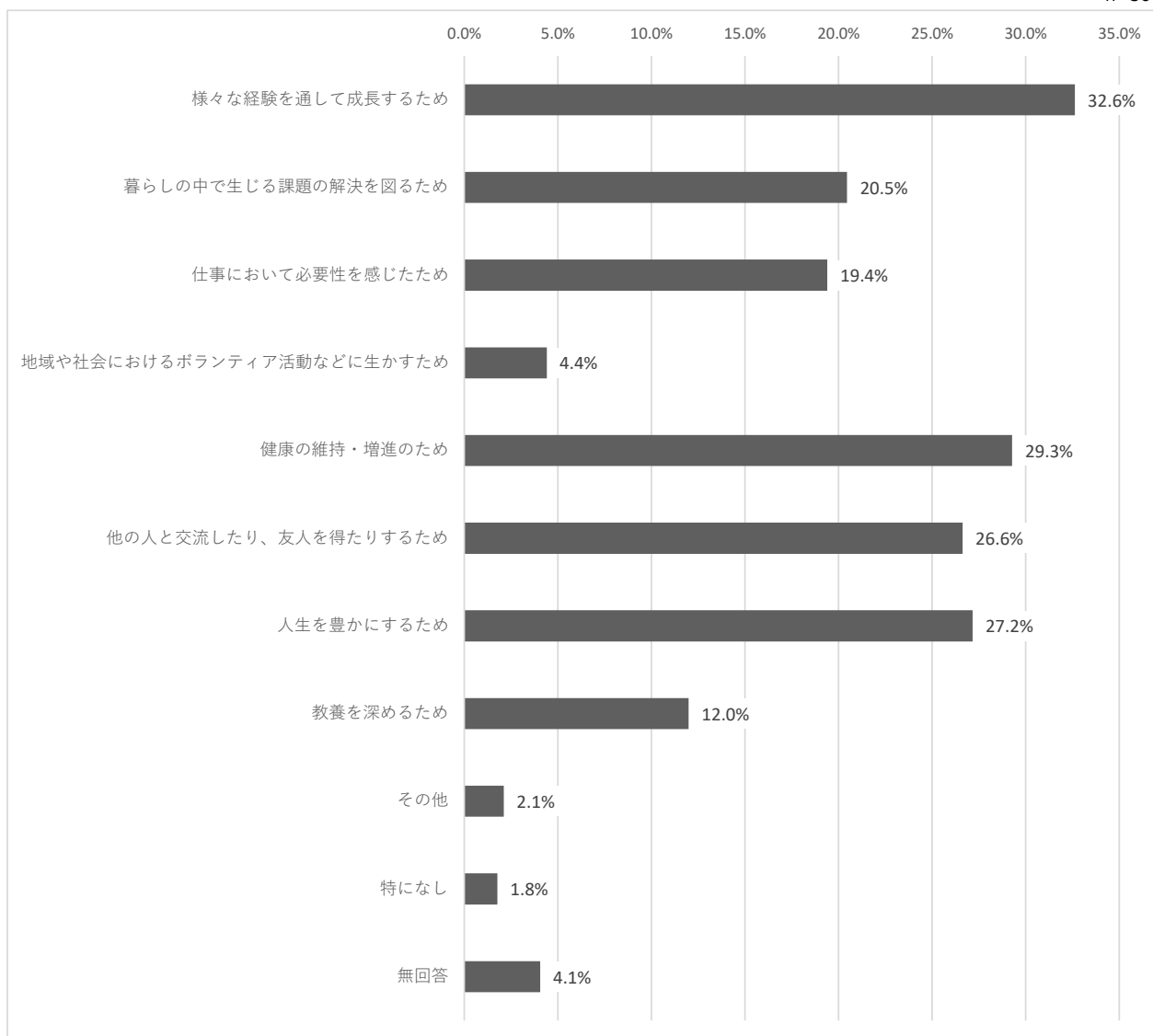
その他

●ピアサポーターの制度化 ●eスポーツ ●自身の理解を進め、少しでも前進したいとは思っているが、なかなか難しい。 ●放送大学 ●親元をはなれてグループホームに過ごす ●障害者に特化した通学できる専門学校のようなどころへの進学 ●筋トレ ●人間観察、鑑賞

【問9で「サ 特になし」以外を回答した方はお答えください】

問10 障害のある方が生涯学習（学校以外での学習や文化・スポーツ、趣味等）を続けている理由は何ですか。当てはまるものすべての記号に○をつけてください。

n=567



問9で「サ 特になし」以外を選択した方に回答してもらったところ、「様々な経験を通して成長するため」と回答した方が32.6%と最も多かった。

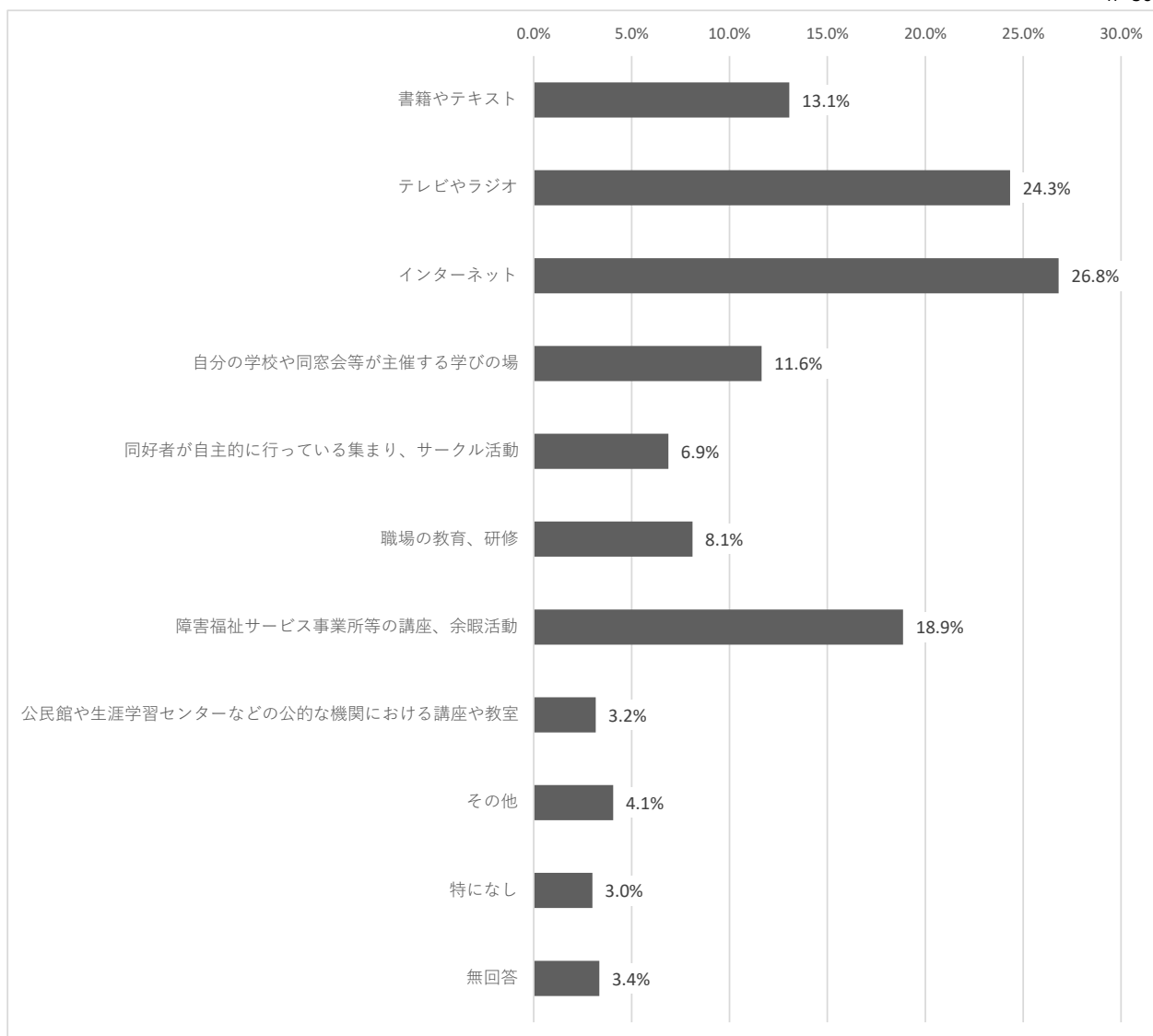
その他

- 大会に出場する為
- たのしいから
- 定年後の収入を得るため
- 面白いから
- 自身の生きづらさ、苦しさをどう和らげるか、どううまく付き合うか考えるため
- 小説を書くために必要
- ストレス解消
- ストレス発散
- 元々家族が参加していたことがあります
- 好きだから（2名）

【問9で「サ 特になし」以外を回答した方はお答えください】

問11 障害のある方は、生涯学習（学校以外での学習や文化・スポーツ、趣味等）をどのようにして続けていますか。
当てはまるものすべての記号に○をつけてください。

n=567



設問9で「サ 特になし」以外を選択した方に回答してもらったところ、「インターネット」と回答した方が26.8%と一番多かった。

その他

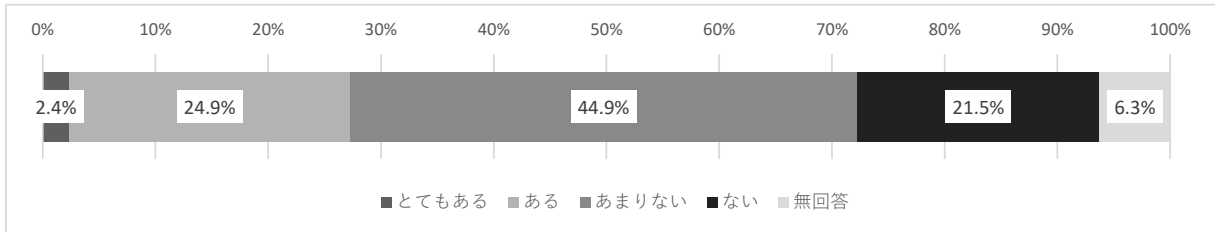
●親といっしょにスキー ●家族とスポーツやカラオケなどを楽しむ ●親の支え ●民間の教室 ●民間主催の教室 ●習い事（2名） ●自宅のパソコン ●音楽教室 ●デイサービス ●習い事として、一般の子と一緒にスイミング ●スポーツクラブ ●放課後等デイサービス ●自宅 ●母と一緒に ●ボランティアの方が行う教室、地域スポーツクラブが行う活動 ●カーブスで運動をしています ●母と一緒に、土日の休みは外出し、運動したり、外食をしたり、公共ルールもわかって欲しいので、なるべく、よく出かけるようにしています。（コロナが多い時期は、控えながら…。）

6 障害者の生涯学習をめぐる状況

問12 障害のある方の、生涯学習（学校以外での学習や文化・スポーツ、趣味等）をめぐる状況について、当てはまるものを一つ選び、記号に○をつけてください。

① 生涯学習に関する情報がありますか。

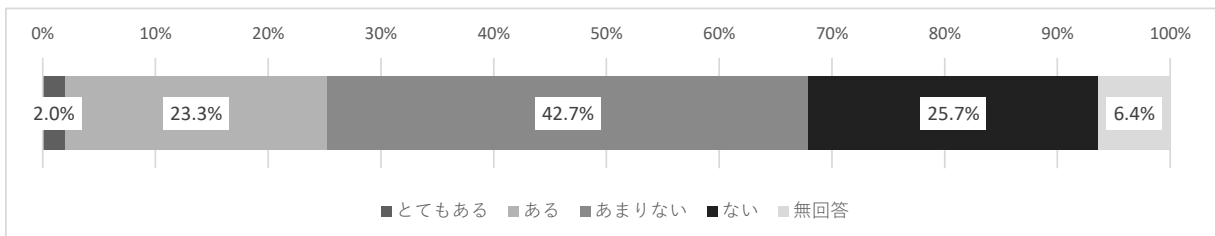
n=800



「とともある」「ある」を合わせた「ある」という回答は27.3%、「あまりない」「ない」をあわせた「ない」という回答は66.4%となった。

② 生涯学習の機会がありますか。

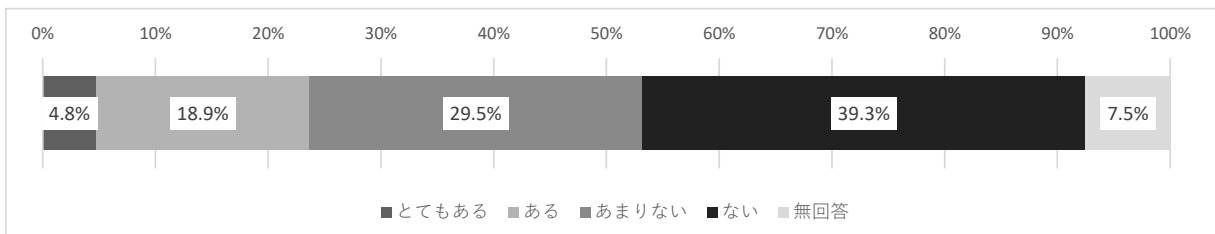
n=800



「とともある」「ある」を合わせた「ある」という回答が25.3%、「あまりない」「ない」を合わせた「ない」という回答が68.4%となった。

③ 生涯学習への参加を物理的に妨げる要因（階段の段差、多目的トイレの有無等）はありますか。

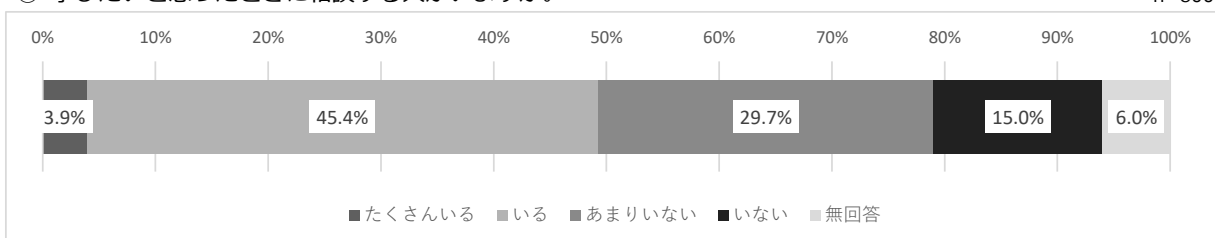
n=800



「とともある」「ある」を合わせた「ある」という回答が23.7%、「あまりない」「ない」を合わせた「ない」という回答が68.8%となった。

④ 学びたいと思ったときに相談する人がいますか。

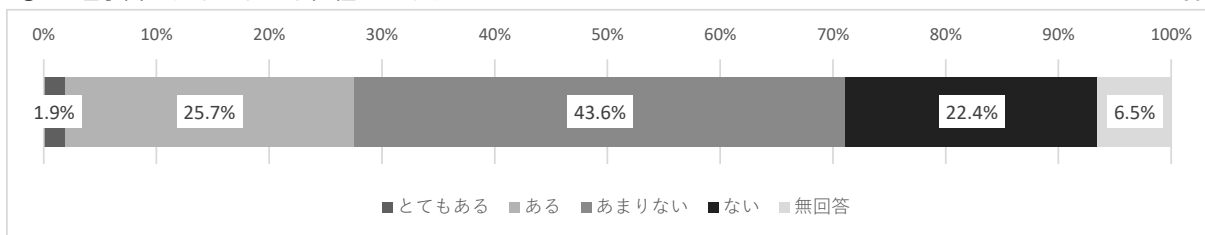
n=800



「たくさんいる」「いる」を合わせた「ある」という回答が49.3%、「あまりいない」「いない」を合わせた「いない」という回答が44.7%となった。

⑤ 生涯学習をサポートする仕組みがありますか。

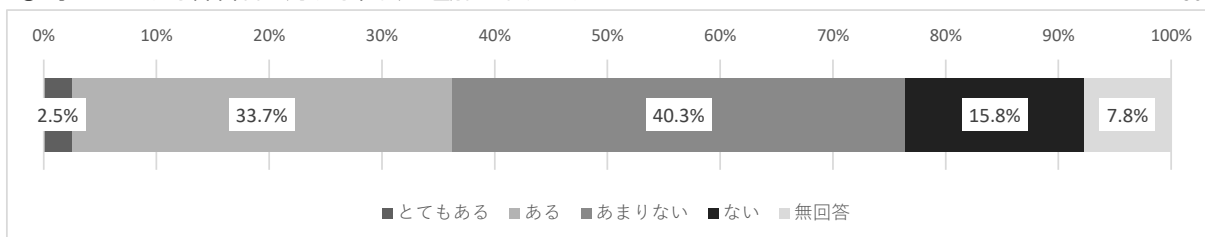
n=800



「とともある」「ある」を合わせた「ある」という回答が27.6%、「あまりない」「ない」を合わせた「ない」という回答が66.0%となった。

⑥ 学ぼうとする障害者に対する社会の理解がありますか。

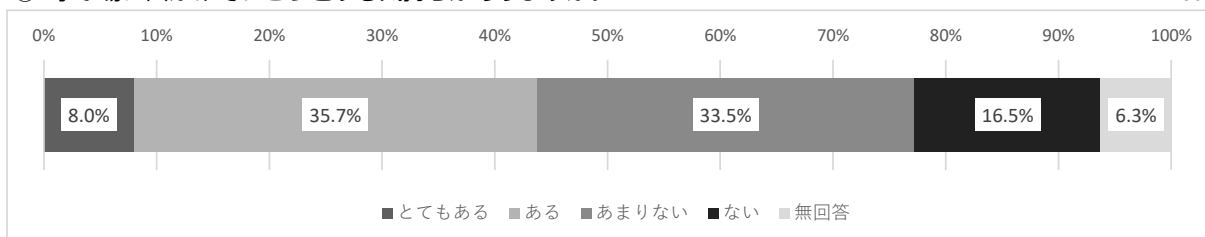
n=800



「とともある」「ある」を合わせた「ある」という回答が36.2%、「あまりない」「ない」を合わせた「ない」という回答が56.1%となった。

⑦ 学ぶ場に出かけていこうとする気持ちがありますか。

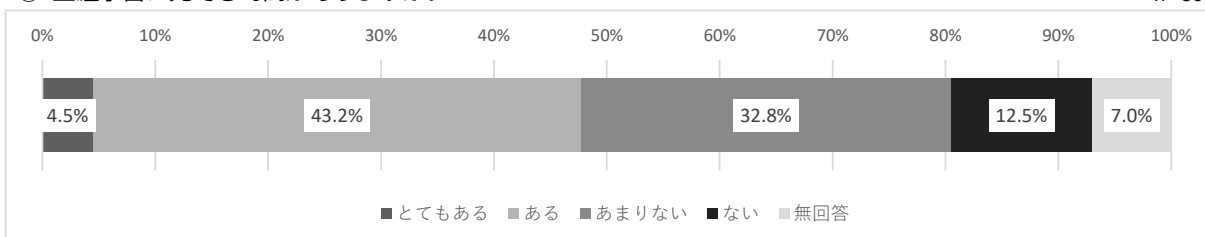
n=800



「とともある」「ある」を合わせた「ある」という回答が43.7%、「あまりない」「ない」を合わせた「ない」という回答が50.0%となった。

⑧ 生涯学習に充てる時間がありますか。

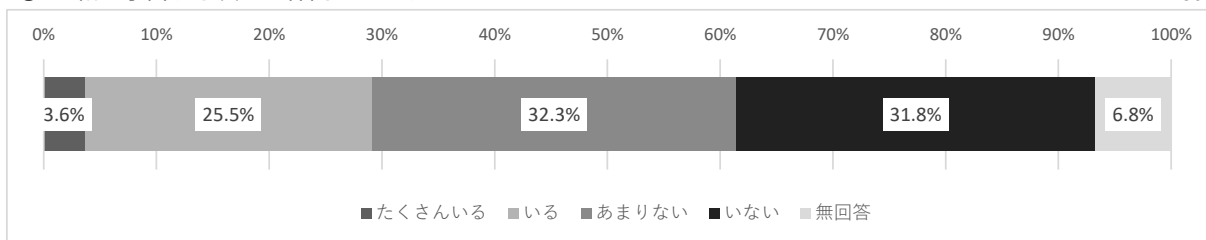
n=800



「とともある」「ある」を合わせた「ある」という回答が47.7%、「あまりない」「ない」を合わせた「ない」という回答が45.3%となった。

⑨ 一緒に学習する友人、仲間がいますか。

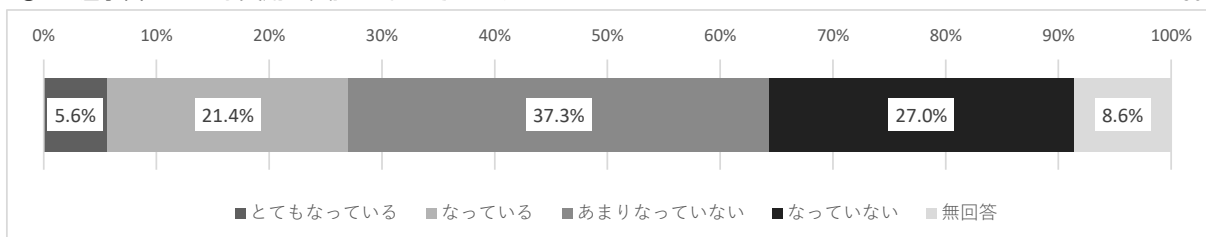
n=800



「たくさんいる」「いる」を合わせた「いる」という回答が29.1%、「あまりない」「ない」を合わせた「ない」という回答が64.1%となった。

⑩ 生涯学習にかかる費用が負担になっていますか。

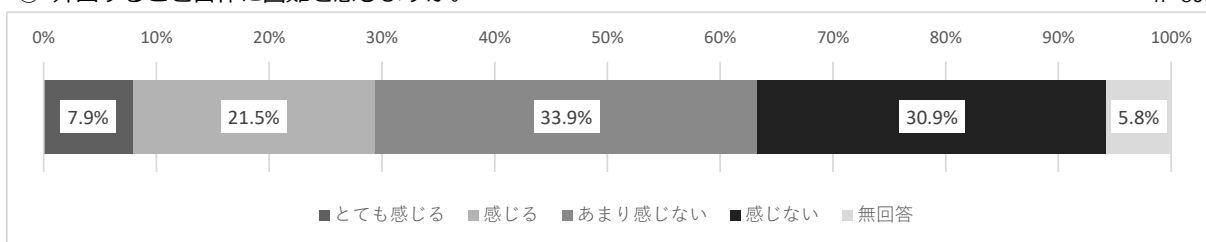
n=800



「とてもなっている」「なっている」を合わせた「なっている」という回答が27.0%、「あまりなっていない」「なっていない」を合わせた「いない」という回答が64.3%となった。

⑪ 外出すること自体に困難を感じますか。

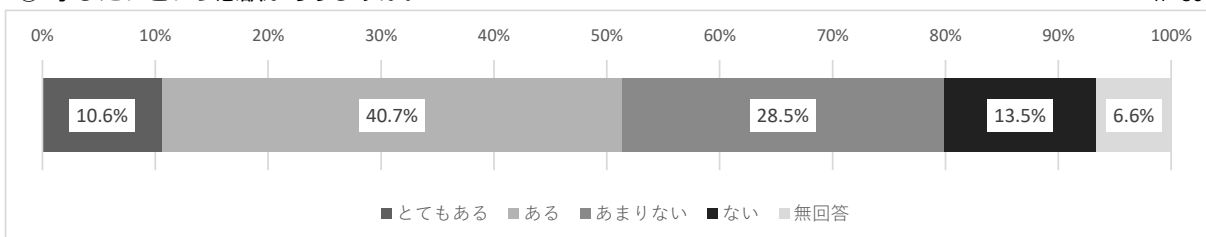
n=800



「とても感じる」「感じる」を合わせた「感じる」という回答が29.4%、「あまり感じない」「感じない」を合わせた「感じない」という回答が64.8%となった。

⑫ 学びたいという意欲がありますか。

n=800



「とてもある」「ある」を合わせた「ある」という回答が51.3%、「あまりない」「ない」を合わせた「ない」という回答が42.0%となった。

問13 障害のある方の生涯学習について、ご意見やご希望があればお書きください。

- 特になし、なし（29名）
- スポーツや文化的なサークルがあったらいいな。職場にあったらもっといいな。
- 仕事が家庭のじじょうで未だにパートなので障害者こようをもっとふやして下さい。
- 周りを見て自分は何をするかと言うのは出来ますが、親がいなければ自立はできないと思う。他の兄弟に頼むとしても、家で生活出来ないと思う。一定の生活リズムの中で、時々社会と触れながら生活出来ていければ、今本人にとってベストな気がする。大まかな流れは理解出来るようだが、細かい事になると理解出来ないと思う。
- その前に障害の方の呼び方を「障害」ではなく「障がい」としないのでしょうか？そこが今回ギモンに思いながらアンケートしました。
- 障害の状態が学習できる状態にない。
- 市広報にページを多く載せてほしい。
- 平日はあまり時間が取れないので、平日以外でも生涯学習について相談できる環境等があれば良いと思います。
- 地域の差があることがとても気になります。私の住む地域は、障がいのある人たちがあつまってレクリエーションをたのしんだり、学んだりする場もほとんどありません。スポーツをやらせたくても障がいがあるので二の足を踏んでしまうことも事実。健常な人の中に混じり一緒にやらせてあげたいのですが、それをサポートしてくれる人もいないし。障がいのある方々で興味のある人が集い、たのしめるスポーツクラブみたいなものがあればいつも思っています。
- 学習意欲はあるが、イベントとかお知らせ等を耳にする機会が無いのが現状です。たぶん、意欲的な方はいると思う。声にする方は少ないと思いますが、声を聞いて欲しいと思う。
- もっと学びの場や、交流の場、情報などが豊富であってほしい。
- 気軽に参加できるイベントがたくさんあるといいなと思います。インターネットを利用できないので、情報などは仕事場を通して得られると嬉しいです。このアンケートは少し難しく、家族に説明してもらいながら書きました。これからも、僕たち障害者のために、よろしくお願いします。
- 展覧会など美術館でやる催事を、細かく地域ごとに、やってほしい。→家族で見に行くのに、遠すぎたりする。
- 一般の企業に勤めたいのに面接だけで落とされるこの社会がにくたらしい。障害あるからって、変な目でみないでほしい。採用してからこの人は使えるか、使えないか、考えた上で面接してほしい。障害者は忍耐力ある、使ってみてダメなら、かいこにしてほしいです。これじゃいつまでも、A型事業所にいなければならず、給料も安すぎて生活がなりたたない。自殺も何度考えた事かはかり知れません！！
- 自分の会社⇔センター（病院）の3つで、今の自分が成り立っています。生活する上で、相談できる場所がある事が、必要だと、感じています。
- 体を動かして運動をしたいです。たくさんみんなとたくさん仲間を作ってコミュニケーションを図っていきたいです。
- 交通手段について、いつも考えさせられます。

- 現在知的障害特別支援学校に通っています。1年生です。中学生の頃からコンピューター関係の専門学校に進学したいと希望していましたが、特別支援学校は高校ではないので進学する為には高卒認定試験が必要だと中学校の先生に言われました。高卒認定試験というだけで本人は自分には無理だとあきらめてしまいました。息子の夢を叶えてあげたいです。障害者は卒業イコール就職しかないのでしょうか…
- 長文読解が難しいので、資格試験などの時に非常に困っている。また内容も複雑になるとどう勉強していいかわからない。
- 自宅の近くに学べる場があればOKなんですがバス電車を利用しなければ学習の場がないので不便さを感じています。SNS等や本で自分なりに勉強してるのですが物足りなさを感じてるのが実感です。障害者に対する心のバリアを外す方法、機会を県で増やしてくれると幸いです。
- 私は、精神障がい者である。今年度、精神保健福祉士の国家試験を受験した。合格できるかは、わからない。でも、僕以外でも、障がい者で精神保健福祉士を目指す人が出てきてほしい。
- もう少し周りの理解がほしい
- 生涯学習がわからないです。
- 見た目で障害が有ると分かる方にはみなさんやさしいですが、普通に見える人ほど障害される事、理解してもらえない、その中で自分がよりよい生活を理解し自分を好きになるため、生涯学習は一般の人も、自分も必要だと思う
- 町には障害者が学べるような施設や取り組みはありません。また、本人は移動が徒歩又は自転車のみのため、天候に左右されますし、バスも1時間又は2時間に1本しか出ていないため、とても不便なのではないかと思えます。経済的にも、父が昨年亡くなったため、障害者の母と障害者本人の2人暮らしで障害者年金と働いたお金でやりくりをしているため学習等に当てる金銭的余裕はないように見受けられます。
- 地域で定期的に講座等を開催してもらえたら、と思います。家で一人で黙々と学習をするより、他者とのコミュニケーションや、教えていただく喜びを味わえたらと思います。
- 特になし。
- 学習したいけど、その場所がない。
- 高校を卒業後は、勉強するばがない。
- 塾で学習するしかない。
- 私は、SNSもしくはスマホにより、生涯学習の情報を得ています。生涯学習の学びの場講座や教室の数を増やしてそれをわかりやすく検索しやすい様をお願い致します。
- 学習の前にスタッフの上に立つ人はもっとスタッフの真の姿（言動）を見るべきと思う。
- 害という字を使われるのはとても嫌だ。このご時世、地方自治体やいろんな所では「がい」と平仮名表記している。平仮名表記にすべきだ！
- 障害のある人々が生涯学習をするための施設があるとしても、そこへ通うための交通手段が無く、あったとしても遠い所が多い。障害がある人たちでくらず、健常の人と一緒にできる所があると良いと思う。知らない事で、学べない事で、偏見も生まれるのではないのでしょうか？
- 普通に生活しているのでこのアンケートには答えられません
- 生きて行く希望が、持てない。
- 青森市での開催行事は割と多いと思いますが、自分の住む地域でも開催してもらえらるともっと参加率が向上するのは？

- 学習の目的でなくても、趣味の範囲で、日常を楽しく過ごす、意欲を持てる事を見つける事が大事だと思いました。
- 1、「障害のある方の生涯学習」と「障害のない方の障害学習」に違いはありますか？
2、障害の程度によって、求めるレベル、実現可能性のレベルは違います。役にたつ内容は人によって違いがあるということです。段階を踏んでということであれば、今回のように形式的な内容で良いと思いますが…このアンケートをどのように活用するのか、“したいのか”質問から伝わるようであれば良かったと思います。
3、但し、今回このようなアンケートの試みは大変良いと思います。障害者が学びを通して社会参加することに、理解が進む方向に役立てていただければと思います。
- 学びたい事があり、情報が入ってきてても、それに対する学び場が少なく受け入れて頂けない。またダウン症というだけで断られることもありました。
- 周囲の理解が必要。困っている時話せない事もあるので助けてもらえるように周囲の人が話しかける世の中になって欲しい。
- 本人が自分がしたいことを見つけられずにいる
- 県内にどんな同好会があるのか、紹介するホームページがあるとより生涯学習へのアクセスが容易になると思います。
- 障害と言ってもレベルがピンキリなので、ひとくくりにアンケートを取る意味がいまいちわからない。障害者を対象としている場に、行きたいとは思わない。
- 運動ができる施設を利用する機会が欲しい。
- コロナになってからバスケットができなくなったことが残念です。
- 今はまだ通学生なので困る事なく色んな支援や情報等がありますので、今は困ってはいません。卒業後の生活については、不安は大きいです。使いたいサービスもない、新しく作ってほしいサービスがあったとしても一人しかいないので、伝えてみてもどうなるのかなと思っています。
- 生涯学習についての情報や資料がないのでどのような学習をするのかわからない。また学習をする場所などでやっているのかわからない。
- 障害の程度によっては、家族の支援がなければむずかしいと思う。ましてや、家族が働いていたら時間的にも難しい。でも学校を卒業したあとで学校で学んだことがムダにならないようにしたいと思う。
- 家族のサポートも大変。会社の理解（親への）も必要。親も正社員で働くことがむずかしい。
- 50才もすぎるといろいろなことはあまりありません
- （保護者の意見として）理想を言えば、障害がある、ないに関わらず、皆が同じように何かを学び、共に生きるような世の中になって欲しいと思います。全国的に見てどうかは分かりませんが、青森市に長く住んでいて、障害者の生涯学習についての情報はほとんど無いように思います。情報を調べるだけで保護者は疲れてしまいます。何か障害別に、こういう場合はここへ連絡すれば教えてくれるとか一覧のような物があれば、何かを学びたい、スポーツをしたい…となった時にすぐ進めるかもしれません。（現時点で、もしそういう制度がありましたら申し訳ありません。私の勉強不足です。）
- 最重度の障害児で慣れていない場所だとパニックになり暴れるので、利用している施設に出張してきてもらう方法があればいいなと思います。車椅子の心配、トイレの心配もあり外出が難しいこともあるので。
- 生涯学習、イベントなどのお知らせを、個別で、年に数回でも郵送して欲しい。ほぼ、市の広報でしか見ないが、目立たず、見逃しがち。
- 学校、町内会の掲示板にポスターを貼る。

- 本人1人では参加できないので（言葉を発することができず、身振りで意味を表す）親（母親）がついていかないといけない。サポートしてくれるスタッフがいるとより参加しやすいかも。
- 学ぶ意欲は有るのですが、いろいろなじじょうにより、今はまだ生涯学習をするよゆうが無いです。
- 学ぼうとする障害者に社会の理解がほぼないので、対策してほしい。“障害者”というだけでB型事業所でしか活躍できないだろうという偏見がとて多くみられる。
- コミュニケーションをとることが難しいと、1人だで行かせることが難しいし親がつきそうとなると、時間が限られてしまいます。それも含めて学んだり参加できるサポートがあれば助かります。
- 周りにあまりないので もうすこし障害者の活動できる場をもうけてもらいたい
- 生涯学習について勉強したいと思います
- 障害のある人の自助会（当事者会）としてのコミュニティや、集まって交流する機会を増やしてほしいです。（親の会ばかり目立っていて参加できない）またその他学習の対象分野を広げたり、学べる場所を増やしてほしいです。（オンライン講座などもあるとうれしい、申込が手紙やFAXの場合もまだまだ多いので、メールやSNSからでも申込ができる機会が増えると助かる）
- 障害の程度が重いと、活動できるものがほとんどないと感じます。特別支援学校の放課後の時間や土日など、出身母校で定期的な集いや生涯学習が受けられたらいいな、と思います。
- 重度知的障害+自閉症の子をもつ親です。この春、支援学校高等部を卒業し、B型事業所へ通います。今までは学校（+児童デイサービス）で様々な活動ができていましたが、卒業後は無くなるので、単調な毎日になります。月に1~2回、体を動かす集団活動の場があるといいなと思います。本人はプールが好きなのですが、プール教室はまず無理ですし、公営プールも声が大きいのと動きも怪しいので一般の方と一緒に気が引けます。なので障がい者のみ利用できる日があるプールがあるととても嬉しい。大人の障がい者施設で、作業中心でなく、生涯学習もとり入れてくれたら毎日が充実するのではないのでしょうか。
- 小さい時は療育機関がありますが、中・高になると、確かに成長の伸びはないかもしれませんが、ニガテな所を学ばせる、練習する所、大きな子用の療育機関があれば良いと思いました。（放課後デイ・サービスでは足りません。専門を学んだ方がいる所がもっとほしいです）
- 役所や病院各種さまざま所で今コロナウイルスが流行している中で自分は補聴器をつけているが相手がマスクをしている為筆談をお願いしています。めんどいかも知れないけど手話はできないけどひつ談しだいでどうにかなってきた。
- 大勢の人が集える場に行くことに困難を感じるため、自宅でテキスト等による学習や、オンラインで受けられるものを選択しやすいとやりやすいと感じる。
- ありません
- 私にとって生涯学習の最大の障害になっているのは、時間とお金です。自分のペースで学習できる長いスパンでの時間とそれを学ぶための受講料や交通費、旅費、宿泊費等、教えたら金銭に関する事で学べない事は障害者ではなくとも多いです。時間的にも、体調の良悪で途中で断念せざるを得ない場合も多く、その時点で学ぶ意欲も根こそぎ引き抜かれてしまう事の方が多いです。体調不良の状態でも学び続けられる意味を失うのです。
- 健常者の方と比べて収入が劣る方が多いので、なるべく金銭的な負担がかからない環境で学べる機会があると嬉しい。又、何かを学びたいという気持ちがあればどのような環境でも何とかなるものだとは思う。
- 少しでも、目に見えない辛さを理解されるような社会になってほしい。私自身はもう遅いところがあるが、これから社会に出る同じ苦しみを持った方々を少しでも救ってほしい。

- 学校職場以外の余暇の過ごし方はとても大切だと思う。学びたい活動したいという意欲があるのに簡単に参加できない気持ちが大きかれ少なかれあると思う。一般の教室などにも快く参加できる場所もあると思うがなかなか知る事ができないのが残念です。障害のある方が集まってする学習なども必要ですがアンケートの回答にわからないというのも必要だと思う。
- 障害のある人でもきがるに相談できる所（場所・建物）分かりにくいので、わかりやすくしてほしい。社会の理解も必要だけど、一般の人と同じように接してほしい。
- 所得が少ないので書籍は図書館に頼ることが多く、ありがたく使わせていただいています。收藏されていない書籍も館外から取りよせてもらうこともできて便利だと思っています。しかし、そんな図書館員の時給を見てみると最低賃金ギリギリで、このままでは働き手がいなくなってしまうのか、そうなっては図書館を維持できなくなりほしくないかと心配しています。
- 家の中でも情報を得たり参加できれば、よいと思う。
- 在学中は、放課後等デイサービスでいろいろな経験ができていたので良いと思うが卒業後の就労等は考えるが、生涯学習となるとなかなかイメージができない。いろいろな助けが必要になると思うと難しい気がしている。
- 学びたいという意欲はあるが、一般就労しているので休みの日は、体を休めているので暇がないです。（のんびり過ごすのも必要!!!）
- 今の所、学びたいと思うような学習は無いようです。このようなアンケートがあるだけでもとても恵まれていると思います。
- 習い事をしていたが外出できなくなり（コロナウイルス対策により）さみしいです。学べる場がもっとほしいです。友達との交流がたのしみでした。
- 障害者の居場所があればいい。
- スキルを習得できる環境があまりない。会社などで、生かせるスキルを学べる場があれば行きたい。生涯学習は、障害者個人だと、あまり長つづきしない。
- 支えんしていても自分の課題があまり見えないような時もあるし日によっては出来ない時もある 自分の余暇をしていても、生活をするなか余暇を優先してしまえば、生活リズムがみだれるし、学ぶ場所を少しでもできればいいなと思っています
- これからも仕事ができるようにおねがいします
- その子の特技を生かせる、その特技によって生活できる職場を拡充してほしい。
- 八戸市の最寄りの夜間大学は北海学園大学なので、八戸市が青森県内にも夜間部が開校すればいい。
- このアンケートですが障害の意味がわかってのアンケートですか？障害がある人の状態別でアンケートをとらないと意味がないと思います。障害者に対してもっと、理解して欲しいです。
- 障がいがある子が学ぼう、習い事をしよう、体を動かそうと思っても、受け入れてくれる事業者や設備が十分でないと感じています。例えば、健康増進の目的でプールに行きたいと思っても、息子がいるのですが、父親がいないと連れて行くことができません。長野県には、障がいがある子が優先的に利用できる施設（スポーツ系の）があり、プール等の着替えも母が息子を、父が娘を連れて行っても利用できる、着替場所があるときいています。八戸は難しいでしょうか？福祉体育館はありますが、福祉系の利用より、一般の方々の利用が多く、予約もとりにくい状況です。福祉とは名ばかりではないでしょうか？
- コロナウイルスが早く終了して、自由に外出すれば学びたいという気持ちもでてくるかもしれないが今は、健康でいるためにがまんしている

- 何かの障がい者向けのイベント、必ず青森市、弘前市、八戸市と大きい市でしか開催しないのは気のせいでしょうか？せめてもう少しでも森田や五所川原、つがる市、金木町とか幅広い地域でも開催してほしいです。人口的なものなんですか？学生時期は学校で様々なイベントをやってくれているので不満はないです。卒業後、各施設に丸投げしている感があります。
- 何かを始めてみたい、スポーツをしてみたいという気持ちはあるが、健常者の人に理解してもらえない不安で一步を踏み出せない。そういう場に同行して支援してくれる人がいればいいなと思う。また、そういう方がいるのであれば情報が欲しい。軽度の障がいの方が、学校を卒業してからの生活が充実してないような気がします。
- アンケートがわかりにくい。
- 学校在学中は学べるがたくさんあり資格を取得することもできますが、卒業後も障がいのある子どもたちが気軽に参加できる場や情報がほしいです。障がいのある方達への理解ももっと必要だと思います。
- 分からない事が多い。
- 障害者が集う場所がまったくない。質問は意味がないと思うことばかりです。通所している施設をみつけることもむずかしい今です。その施設とて本人にあっているとは思ってませんし、えらべるほどの数もなければサービスもひどいものです。せめて、リクレーションをさせてくれるようなサービスがあれば、人生たのしくなるのと思う。
- 数検の勉強をして覚えられるように頑張ります。
- オムツをしていて、体も大きいのでトイレが大変で、外出がむずかしいです。
- 障害者でもパソコンなどのデジタル関係の勉強が出来る場所が欲しいです。車を持っていないので、バスの本数などが少なく、出かけにくいです。個人でも、どんな支援を受けられるのか知りたいです。役場や、病院で書類等の堂々巡りは止めてもらいたい。欲しい時に、生活弱者に対しての情報が欲しいです。ピアサポーターを増やして欲しいです。情報が少なすぎて、どこで何をやっているのか分かりません。作業所なのに仕事がきつすぎです。助すけて下さい。
- 特別支援学校卒業後も国語・算数などを継続して学べる場所がほしい。(指導者は退職教員などは可能か?)現状は、特別支援学校高等部にもなると、作業学習の時間が多くなり、学科学習に伸びしろを残したまま卒業してしまう。漢字や計算を学ぶことは、本人の自立した生活や仕事の面にも良い成果をもたらすはず。
- 学校を卒業すると楽しめる仲間や社会との関わりが少なくなり心配です。働く場所以外にも、友人や楽しめる、継続的に通える、人生を豊かに生きがいを感じられる所や機会がほしいです。
- 社会的マナーが視覚的に分かる環境が整うことでトラブルが減ると思います。小さい頃から、障害をもっている子どもと、一緒に過ごせるような、標識や文字版などがあると、過ごしやすいのかと思います。今は、ある環境に障害のある子や親たちが合わせたり、工夫をしたりして育児を行っています。大人になった子どもたちに、小さな頃どのような環境だったら、過ごしやすかったのかを聞いてみたいと思います。
- 学習についての意見・希望ではないです。障害者に接する事がある公的な立場(警察・役場等)の人達の理解を含めて学習の場があれば、と思います。病院を含めて。
- 青森市のねむのき会館のトランポリン、陸上に参加させていただきました。半年毎に案内を頂いています。冬季は車の運転が厳しいので、前半の(6月~9月?)の教室に申し込みしています。(コロナになってから行かなくなりましたが…)息子の場合は身体は丈夫で走る事、動く事が好きなのですが、コーチの方の指示が入りません。口頭の指示が通じない障害者向けに、視覚的なツールや動画、もしくは模範指導等、あったらわかりやすいのかなと思います。あと、ボーリングやビリヤード等の娯楽を定期的に企画などがあると良いなと思います。

- 知的障害がある子どもは、高等支援学校へ行き、職業の知識はある程度得られそうだが、高卒の資格がないため、もし、上の学校へ進学やもっと専門的な知識を身につけたいと思っても、難しい現実がある。（サポートが必要）誰もが願望を叶えられる世の中であってほしい。
- 生涯学習により、成長や可能性が広がると思いますので生涯学習の場が増えたり、充実することを望みます。
- 生涯学習についてあまり考えていなかった為、これから意識して情報収集をします。（親）
- どのような事が生涯学習と言われるものなのか、よく分らない。学校やデイサービスがなくなり、自宅で頭を使わなくなる分障害の度合いがひどくなるんじゃないかと心配。就労後のデイサービスの所が欲しい。
- まだ高等養護学校に通っている為、学校中心の生活です。今後は、色々な活動が必要になると思いますが、その時に学校からの案内etcがあれば、助かると思います。どの様な事があるのかも分からない状態なので…
- 公共のバス等で行ける屋内で体を動かせる場所がほしい。
- 学習する場所（会場）に行く交通手段が大きな壁となっています。近くにバス停がないので親の送迎が必要。
- 一般の社会の仕事で障害者をあつかっている仕事がしたい。
- 障害のレベルに合わせた施設があってほしい。
- 障害関係なく、やりたい事がみつかった時は見守って行きたいと思っています。
- 健常者も障害者（知的もふくめて）すべての人が、地域でいっしょに学習・活動できるようにしてほしい。
（大きい市ばかりでなく）トランポリン、ボッチャ、カーリングの案内で行う物など、子どもから、大人まで、障害あるなしわけへだてなく、学び活動できる場を作ってひろめてほしい。そうすることで、障害者も、その家族も、いっしょに外出もしやすくなる、その一助になると思う。買い物にもいけない、こだわりがある子ならなおさらいけない。でも普通に社会参加していきたいのです。生きているのですから。学問や、講座といったもの以外でも、スポーツ教室とかでもいいので！
- 家の近くに活動する場所がないからわかりません。
- やる気が全くなくユーチューブとかばかりを見ていたりするのでできれば障害者専用の携帯やSNSの制限をかけられるシステムがほしい。現在高1なので…。
- 障害のある方の生涯学習の機会や、社会の理解が増えればいいと思います。
- スポーツ観戦、時代劇を見る。
- 特にありません。成人になって一般の会社に行ってます。
- アンケートをとるのはいいですけど、そもそも良くしていきたいとか本当に考えてくれているのか不明です。ここ何年かで何か変わったりしていますか？手続きばかりふえる一方で、自分達の為に何かプラスになるものがあるとは思ってません。
- バドミントン、バレーやりたい。
- 普段やることもなく親といたら過ごしているだけなので自分で打ち込めるもの、時間を忘れるくらい集中できて本人が楽しいと感じることを見つけたい。今はiPadでユーチューブを見るぐらいです。
- 卓球やりたい。

- 知的障害者は年齢があがるにつれ、学習レベルUPの為の勉強はどんどん減ってくる。学校でのアンケートでは書きにくい事も沢山ある。子供だけでなく親へのアプローチがもっと多く欲しい。伸びる時期への働きかけで変わる事も多いかもしれない。親がやり方がわからないと学校にあがってからでは間に合わないことばかり。勉強に対しては小学校が一番良い。高校は社会に出た時のための事が優先。卒業後は全く期待出来ない。※すみません学校への事ばかりでした。高校を卒業するとほとんどは施設での生活か家での生活で、どこかで趣味やスポーツを続けるのは難しいと思います。数少ないいどころに行けばいいかもわからないし連れて行くのも親が年をとると難しい。
- 学校を卒業する、18才以上になると参加できる講座やイベント、教室が急に少なくなります。一般の方と同じ内容をするには少しサポートしていただけるだけで、色々幅広くチャレンジできると思います。
- 運動したい時に、運動する場所が近くにない。
- 学校卒業後の余暇活動が少なく残念です。ねむの木会館のスポーツ教室には参加したりしますがあと他の施設の情報がありません。参加しても能力の差が大きく、補助して下さるスタッフも少なく長く続けられないのが残念です。（保護者より）
- 障がいのある方が学校卒業後、施設へ行く方がほとんどであるがその施設内では一般的な学習（例えば学校で行っているような学習）をする機会はほぼなく、又、職員配置上の問題、又、施設の特色都合上等々の問題もあり本人がせっかく身に付けた事学習出来た事が活かされず、これが障がいのある方の認知的退行となっている点が多い。特に生活介護では施設で特に行わせられる事もなく本人の力でのみで余暇を過ごさせている点、又、そのような施設でも多く生涯学習に繋げる、結ばせるような活動をしているところは極々、少ないと思われる。もう少し、社会全体でどのように障がい特性を活かして学習させることが出来るかを考える必要がある。これには、世間の認識もそうだが国レベルで働く人々も正しく障がい者を知る必要が望まれると思う。
- 健常者と一緒の席はやはり無理があると思う…。同じ様な境遇の仲間達と励ましあって人生を乗り越えていて欲しい。（障害が重すぎても合わないし、仕事の話をし合う人がいないのが困る）特別学習でなくても、地域社会で役立つ様に、お買い物会とか地元の宿泊施設（ホテルや旅館）でおとまり会なんかも楽しそう。（家族も助かる）自立に向けた学習の機会がたくさんあると本人も家族も嬉しいし助かる。
- 時計が好きなので、たくさん情報が欲しい。
- 本人のやる気がないのでこれから卒業して働いてみて意識が変わることを願っています。
- 障害者だけの習い事、サークルが少ないと感じます。障害児だけの遊べる公園がほしかったです。うちの子は重度障害なので中学生や高校生でも滑り台などで遊びたいのですが周りの目が気になって公園へいけませんでした。料金が発生してもいいのでのびのび遊べる場所がほしかったです。
- 学びたいと思う事がどこにあるかわからない。